

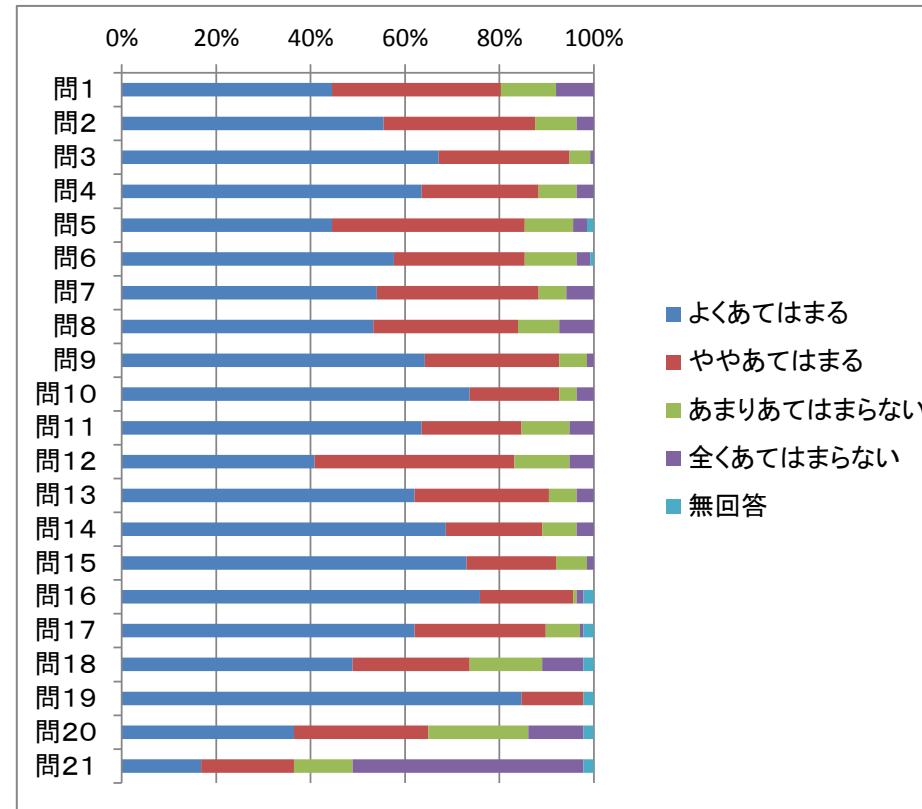
大阪府立たまがわ高等支援学校 平成29年度 学校教育自己診断アンケート結果

1. 設問内容と回答のグラフ

設問のうち上位2区分の合計数値が前年度と比較をして5%以上増減のあったものに↑・↓を記している。

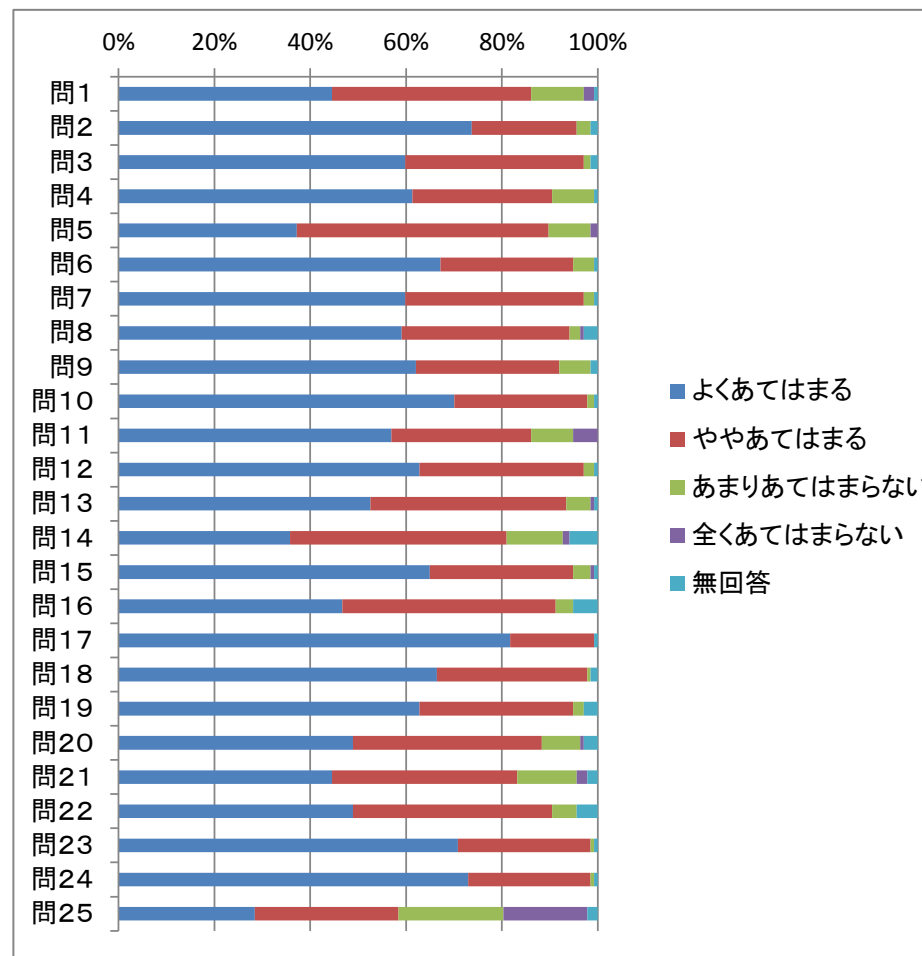
【本校 生徒】

- 問1 学校へ行くのが楽しい(80) ↓
- 問2 先生はわたしたちの言うことをよく聞いてくれる(88)
- 問3 先生は授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる(95)
- 問4 先生はわたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている(88)
- 問5 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある(87)
- 問6 授業でわからないことは、先生にききやすい(86)
- 問7 先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる(88)
- 問8 先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる(84)
- 問9 卒業後の進路、仕事について考える授業がある(93)
- 問10 たまがわフェスティバルやバックツアー・宿泊行事など学校行事はたのしい(93)
- 問11 委員会活動や部活動に積極的に参加している(85)
- 問12 授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある(83)
- 問13 いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある(91)
- 問14 先生は、自分や友だちがはずかしいことやいやなことにあわないように気をつけていてくれる(89)
- 問15 先生は、学校で体罰がないように、気をつけている(92)
- 問16 地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている(98)
- 問17 教室やとくべつ教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにととのっている(92)
- 問18 担任の先生以外にも、保健室や生徒会室で気軽に相談することができる先生がいる(75) ↑
- 問19 授業でコンピュータを使うことがある(100)
- 問20 授業や行事で近くの学校や近所の人と交流することがある(66) ↓
- 問21 学校のホームページを見ることある(37)



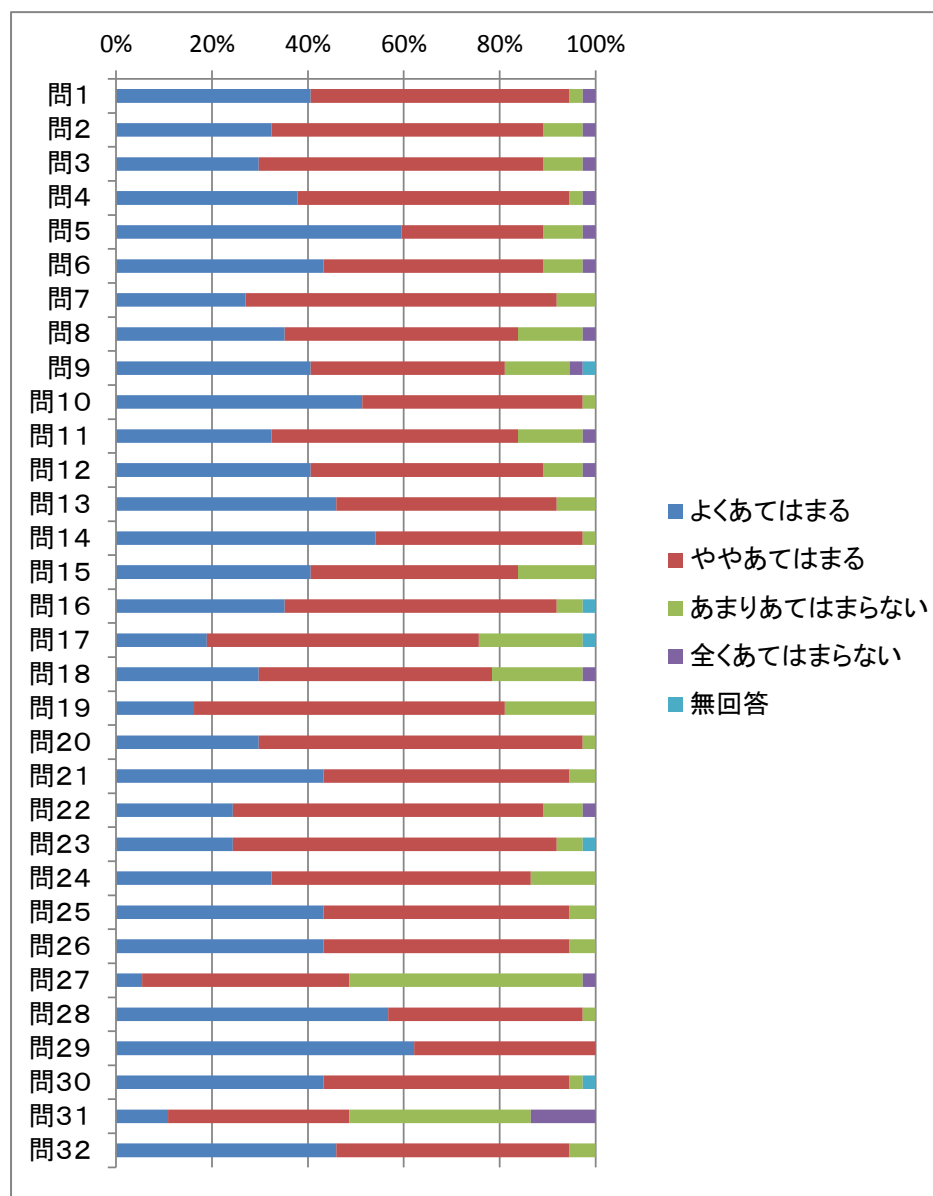
【本校 保護者】

- 問1 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている(87) ↓
- 問2 学校は、進路や職業について適切な指導を行っている(97)
- 問3 学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育 活動に取り組んでいる(99)
- 問4 教職員は、子どもの障がいについて理解している(91)
- 問5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている(90)
- 問6 学習の内容・学校生活の様子を懇談や学級(学年)通信、連絡帳などによって、知ることができる(96)
- 問7 教職員は、子どもの学習 状況や努力を適切・公平に評価している(98)
- 問8 教職員は、いじめのない学習 集団づくりに取り組んでいる(97)
- 問9 保護者は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる(93)
- 問10 たまがわフェスティバルやバックツアー・宿泊 行事や修学旅行などの学校行事は、参加しやすいように工夫されている(99)
- 問11 子どもは、積極的に委員会活動や部活動に参加している(86)
- 問12 学校は、生命を大切にす心や、社会のルールを守るための指導を行っている(98)
- 問13 教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重した指導を行っている(94)
- 問14 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている(86) ↓
- 問15 学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている(96)
- 問16 学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している (96)
- 問17 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている(100)
- 問18 学校では、子どもに関するプライバシーが守られている(99)
- 問19 学校は、文書や学校ホームページを用いて、保護者や地域へ適切な情報発信や意思疎通を行っている(98)
- 問20 学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている(91)
- 問21 学校は、子どもが他の学校の子もたちと交流する機会を設けている(85)
- 問22 学校ではPTA活動が活発に行われている(95)
- 問23 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(99)
- 問24 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(99)
- 問25 学校のホームページを見ることある(60)



【教職員】

- 問1 学校の教育について、教職員で日常的に話し合っている(95) ↑
- 問2 教育課程の編成に当たって学習指導要領の趣旨が生かされている(89)
- 問3 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている(89)
- 問4 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている(95)
- 問5 指導内容については、生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている(89)
- 問6 学習形態の工夫・改善・評価の在り方について話し合う機会がある(89) ↑
- 問7 自立活動指導に当たっては、生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している(92) ↑
- 問8 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている(84) ↓
- 問9 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる(83)
- 問10 生活指導において、家庭や関係機関との連携ができています(97)
- 問11 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている(84) ↓
- 問12 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している(89) ↓
- 問13 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている(92) ↓
- 問14 生徒一人ひとりの人権が守られ、体罰やセクシュアル・ハラスメントを防止するための教職員連携が図られている(97)
- 問15 学校の諸活動において安全指導が徹底している(84)
- 問16 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されており、教職員の意見が反映されている(94) ↑
- 問17 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、会議の内容も学校運営に反映されている(78)
- 問18 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています(78)
- 問19 この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い(81) ↓
- 問20 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている(97) ↑
- 問21 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている(95)
- 問22 コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている(89) ↑
- 問23 校内研修等を通して、初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている(94) ↑
- 問24 教員の間で授業方法等について検討する機会を持っている(86) ↑
- 問25 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している(95)
- 問26 教育活動に必要な情報について、文書や学校ホームページ、生徒・保護者や地域への周知に努めている(95)
- 問27 教職員はPTA活動に参加している(49) ↓
- 問28 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している(97) ↑
- 問29 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成し、保護者に開示し説明している(100)
- 問30 個別の指導計画ならびに個別の教育支援計画と教育課程、通知等との関連を明確化している(97) ↑
- 問31 ライフワークバランスはとれている(49) ↑
- 問32 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる(95)



2. 本校のアンケート概要：設問数・回答数・回答率

	設問数	対象数		回答数		回答率	
		29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
生徒	21	190	191	137	143	72%	75%
保護者	25	190	191	138	145	73%	76%
教員	32	76	77	37	54	49%	70%

- ① アンケート対象 本校生徒・保護者・教職員
- ② アンケート期間 平成29年12月5日(火)～12月14日(木)
- ③ アンケート方法 持ち帰り自宅記入、無記名
- ④ 設問数・内容 生徒、保護者は昨年度と同じ 教員は「いじめ」に関する項目を1問追加

3. 分析

回答率は生徒・保護者は前年度とほぼ同じ、教職員は全体の約半数となった。アンケートの提出と学校教育への関心とは必ずしもイコールではないが、本校の学校教育全般により関心を持っていただくためにもできるだけ多く回答していただけるよう周知する必要があると考える。

【本校 生徒】

前年度比5%以上増減している設問は3問で、その他については大きな変化はなかった。また、概ね80%～90%以上が上位2区分を選択している。問1の「学校へ行くのが楽しい」が減少していることは、今後学校全体で共有して取り組んでいかなければならない問題である。問20の「交流」については、今年度から「交流及び共同学習」を実施しているので、来年度以降の増加を期待したい。

【本校 保護者】

前年度比5%以上減少している設問は2つ。生徒同様に概ね90%以上が上位2区分を選択している。問1「学校へ行くのを楽しみにしている」については生徒の日頃の様子から保護者も同様に感じていると思われる。

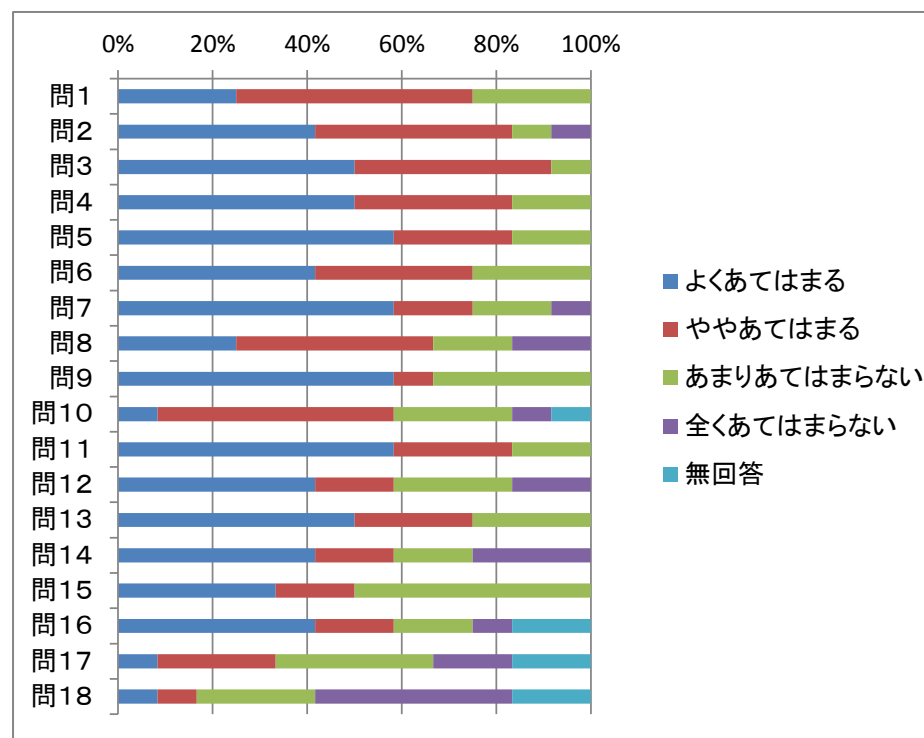
【教職員】

前年度比5%以上増加している設問が11問、減少している設問は6問であった。どの設問も概ね80%以上が上位2区分の解答であるが、その中で問27の「PTA活動への参加」と問31の「ライフワークバランスについて」の2問だけがどちらも49%と低い結果となった。PTA活動については、連絡帳などでのやり取りは毎日おこなわれているので、活動の捉え方次第では、と考える。

4.【参考】共生推進教室 設問内容とグラフ

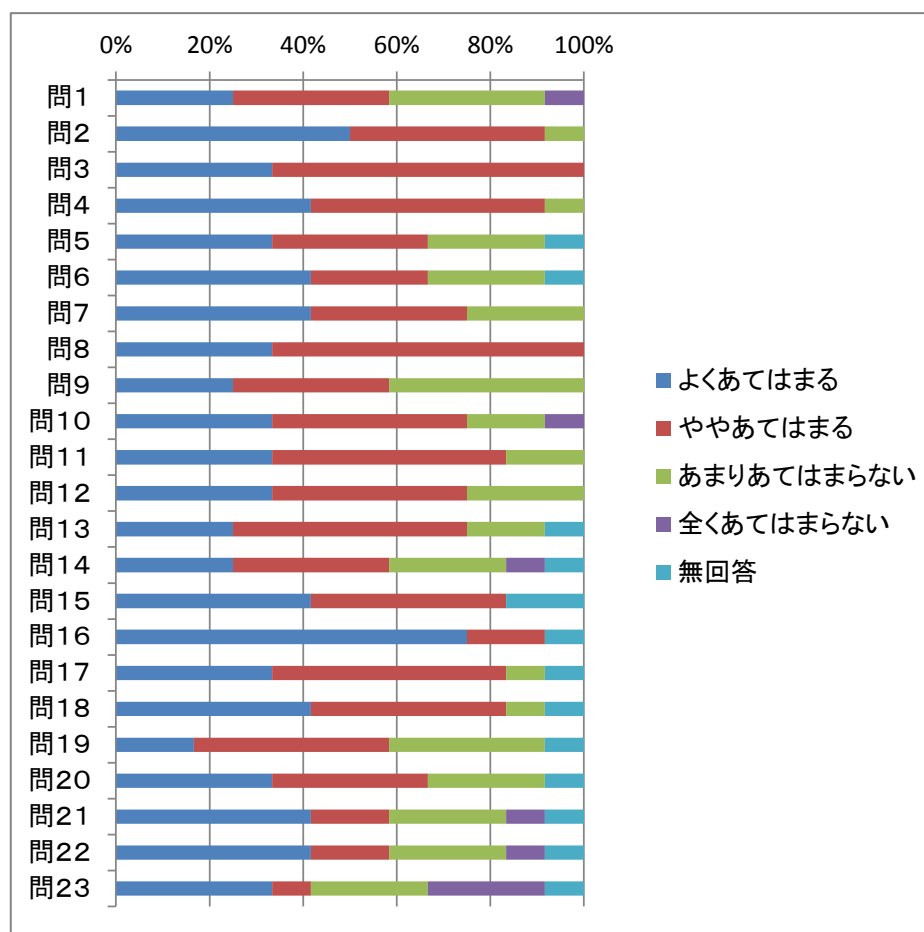
【共生推進教室 生徒】

- 問1 学校へ行くのが楽しい(75) ↑
- 問2 先生は、わたしたちの言うことをよく聞いてくれる(83)
- 問3 先生は、授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる(92) ↑
- 問4 先生は、わたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている(83)
- 問5 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある(83) ↑
- 問6 授業でわからないことは、先生にききやすい(75) ↓
- 問7 先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる(75) ↓
- 問8 先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる(67) ↓
- 問9 卒業後の進路、仕事について考える授業がある(67) ↓
- 問10 授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある(64) ↑
- 問11 いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある(83) ↑
- 問12 先生は、自分や友だちがはずかしいことやいやなことにあわないように気をつけていてくれる(58) ↓
- 問13 先生は、学校で体罰がないように、気をつけている(75) ↓
- 問14 地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている(58) ↑
- 問15 教室やとくべつ教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにととのっている(50) ↓
- 問16 授業でコンピュータを使うことがある(70) ↑
- 問17 設置校の先生だけでなく、たまがわ高等支援学校本校の先生にも、気軽に相談できる先生がいる(40) ↓
- 問18 たまがわ高等支援学校のホームページを見ることある(20)



【参考 共生推進教室 保護者】

- 問1 子どもはたまがわ高等支援学校へ行くのを楽しみにしている(58)
- 問2 たまがわ高等支援学校は、進路や職業について適切な指導を行っている(92) ↑
- 問3 たまがわ高等支援学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育 活動に取り組んでいる(100) ↑
- 問4 教職員は、子どもの障がいについて理解している (92) ↑
- 問5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている(73) ↓
- 問6 学習の内容・学校生活の様子を懇談や学級(学年)通信、連絡帳などによって、知ることができる(73)
- 問7 教職員は、子どもの学習 状況や努力を適切・公平に評価している(75)
- 問8 教職員は、いじめのない学習 集団づくりに取り組んでいる(100) ↑
- 問9 たまがわ高等支援学校は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる(58) ↓
- 問10 子どもは、積極的に授業 等に参加している(75)
- 問11 たまがわ高等支援学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている(83)
- 問12 教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている(75) ↓
- 問13 たまがわ高等支援学校は、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている(82)
- 問14 たまがわ高等支援学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている(64) ↓
- 問15 たまがわ高等支援学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している(100) ↑
- 問16 たまがわ高等支援学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている(100) ↑
- 問17 たまがわ高等支援学校では、子どもに関するプライバシーが守られている(91)
- 問18 たまがわ高等支援学校は、文書や学校ホームページを用いて、保護者や地域へ適切な情報 発信や意思疎通を行っている(91)
- 問19 たまがわ高等支援学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている(64) ↓
- 問20 たまがわ高等支援学校は、子どもが他の学校の子もたちと交流する機会を設けている(73) ↓
- 問21 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(64) ↓
- 問22 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(64) ↓
- 問23 たまがわ高等支援学校のホームページを見ることある(43) ↑



5.【参考】共生推進教室のアンケート概要:設問数・回答数・回答率

	設問数	対象数		回答数		回答率	
		29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
生徒	18	16	17	12	14	75%	80%
保護者	23	16	17	12	14	75%	80%

① アンケート対象 共生推進教室生徒・保護者

② 期間・方法は本校に同じ。ただし、共生推進校の構成が変わっている

H29(H28)1年:6(6)、2年:6(5)、3年:4(6)、計16(17)人